



学校だより 7月号

# かさま

No.506

横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

【学校教育目標】かまがやくひとみ さわやかえがお まごころいっぱい かさまの子

## バタフライエフェクト

### ～広がる優しさ～

校長 中里 純子

5月の学校だよりで、「今年度は、子どもたちと一緒に笠間小にあるたくさんの優しさを見つけたり、それを共有したりしていきたい」ということをお伝えしました。朝会など子どもたちに話をする際には、意識して「優しさ」に関する話題を取り上げるようにしています。校長室にある「優しさポスト」には、時々、子どもたちからの手紙が入っています。以下はその一部です。



4時間目に学年の畑に雑草を抜きに行きました。私は20本雑草を抜きました。なかなか取れない雑草を友達が一緒に抜いてくれました。「ありがとう」を言いました。今度は、優しくしてくれた子に私が優しくしたいです。(2年生)

友達と公園で遊んでいるとき、ある友達が転んでしまいました。そのとき、ほかの友達が濡れたティッシュや除菌シートなどで傷口をふさいだりしていました。私は、みんな優しいなと思いました。そして「優しい」をするためには、協力も必要だと思いました。私もみんなに優しくしたいです。(5年生)

私は、学校外で優しさを見つけました。ある日、友達の家に行っていたときに、近所のおばあさんが挨拶をしてくれました。私は挨拶を返してスッキリした気持ちになりました。するとその友達が「大丈夫ですか。手伝いますよ。」とおばあさんに声をかけ、荷物を持ったり、ドアを開けたり優しく手伝い始めました。私は「学校内」で優しさは意識していますが、「学校外」では意識したことがなかったので、その友達のように地域の人にも優しくしたいと思いました。(6年)

こうした手紙を読むと、私の心も優しい気持ちになります。一人ひとりに返事を書いて渡しています。そして、朝会ときには、全校児童にもこれらの手紙の内容を紹介しました。

「バタフライエフェクト」という言葉があります。チョウチョウの小さな羽ばたきが回りまわって大気の変化をもたらすという意味です。身の回りの小さな優しさに気づくことで、自分も誰かに優しくしたいなという気持ちを持ち、それを行動に移す。その小さな一つひとつの積み重ねが、学校や地域全体に優しさを広げ、さらには、社会全体を変えるきっかけになってほしいと思います。